

政策評価懇談会（第24回）議事要旨

1 日 時

平成21年11月9日（月）～11月27日（金）

2 場 所

持ち回り審議による

3 構成員

<政策評価懇談会委員>

川端 和治	弁護士
(座長) 立石 信雄	オムロン株式会社相談役
田辺 国昭	東京大学大学院法学政治学研究科教授
寺尾 美子	東京大学大学院法学政治学研究科教授
中村 美華	株式会社セブン&アイ・ホールディングス法務部グループ法務シニアオフィサー
前田 雅英	首都大学東京都市教養学部長
山根 香織	主婦連合会長
六車 明	慶應義塾大学法科大学院教授
渡辺 雅昭	朝日新聞社世論調査センター長

4 議 題

- (1) 法務省政策評価に関する基本計画の改定について
- (2) 平成21年度法務省事後評価の実施に関する計画の改定について
- (3) 平成20年度政策評価結果の政策への反映状況について

5 概 要

「法務省政策評価に関する基本計画の改定」及び「平成21年度法務省事後評価の実施に関する計画の改定」について、事務局から説明し、各委員から意見を聴取した。

主な意見については下記のとおり。

記

- 評価手法に関する踏み込みが見られ、改善されている。
- アンケート結果による効果測定が設定されるようになった点は、評価できる。
- 部内だけで通じる用語が散見されるので、より分かりやすい用語を用いることが望ましい。
- 目標に「低い金額で」という指標が加わると、「コストパフォーマンスだけでなく、政策は適正な金額で適正に実現されているか。」といった新しい視点が必要になると思われる。
- 事業の見直しには、例えば、「予算を減らしても目的を達成できるか。」あるいは「予算を減らすと目的を達成できなくなるか。」という議論が必要になると思われる。